

2026 年度 獣医学研究科 博士課程 第 2 期入学試験問題
(選択： 獣医衛生学)

【出題の意図】

問題 1 乳牛における低カルシウム血症の発生機序について述べなさい。

乳熱は獣医衛生学的に最も重要な周産期疾患の一つであり、牛群全体の健康・生産性・衛生レベルを左右する点に出題意義がある。発症は乳房炎や褥瘡感染など二次的感染症を誘発し、治療薬使用量や耐性リスクを高めるため、家畜衛生上の基礎疾患として教育価値が高い。また、乳熱の発生率は乾乳期飼料設計や DCAD 管理など飼養管理指標を反映する“衛生管理の指標”であり、他の代謝病とも関連するため、群全体の衛生状態を評価する上で重要である。

問題 2 乳牛の暑熱感作に起因する障害についてその概要と予防法を述べなさい。

暑熱感作は、地球温暖化に伴い乳牛群で最も重要性が増している獣医衛生学的課題であり、生産性・繁殖性の低下を通じて経営全体に深刻な影響を及ぼす。その発症は採食量減少、乳量低下、受胎率悪化、胚損失増加など多面的な障害を引き起こし、群全体の健康指標を大きく左右する。さらに、高温環境は乳房炎や蹄病など二次的疾患の増加とも関連し、牛群衛生・抗菌薬使用量にも直結するため、公衆衛生学的にも重要なテーマである。暑熱は環境管理・施設設計・飼料計画・水管理など広範な対策が必要であり、これらを統合的に理解できるかを問う点に出題価値がある。